

第10回日産学術研究助成候補者の推薦募集

上のことについて、日産科学振興財団から、当学会に助成候補者の推薦を依頼してきました。推薦を希望される会員は、所定の応募用紙に研究内容を記入し、10月末までに学会事務局へ提出して下さい（応募用紙は担当理事まで請求して下さい）。なお、この研究助成の詳細は下記のとおりです。

記

1. 助成の趣旨

自然科学を主とする学術の有意義な研究にして、国の助成となるべく重複しないもの（その期間が長期にわたる研究、学際的なグループによって行われる研究等）に対し助成を行い、わが国の基礎学術の向上、進展に寄与しようとするものです。

2. 助成対象研究分野

助成対象を、資源・エネルギー、環境の分野の基礎研究および応用研究とし、本年度は当該分野のうち次のような研究を期待します。必ずしも実験を伴う研究のみでなく、いわゆるソフトの研究も含まれます。ただしその場合は、調査研究助成として扱います。

- ① 開発に伴う環境の改変が生態系に及ぼす影響に関する研究
- ② 生物指標による人間環境の評価に関する研究
- ③ 新しい原理に基づく環境の分析方法と制御の方法に関する研究
- ④ 環境汚染物質の生体作用における複合効果に関する研究
- ⑤ 病害動物に対する無公害駆除剤の開発、並びに生物学的駆除法の研究
- ⑥ 環境の自然浄化に関する研究
- ⑦ 新しい機能材料に関する研究
- ⑧ 人間-機械系の解析による安全性向上の研究
- ⑨ エネルギーの貯蔵に関する研究

その他、資源・エネルギー、環境の分野における(イ)海洋の利用、(ロ)林産資源の利用、(ハ)輸送システムなどの研究

3. 助成対象の研究者

本学会に関する自然科学分野の基礎的な研究に従事しており、2～4年の期間を要する上記の研究を行おうと

する研究者および研究グループで、その研究成果が学術の進歩、発展に貢献するところが大きいと思われるもの

4. 研究助成金額

○総額（研究全年度） 約 210,000 千円

- 研究1件につき 30,000千円（調査研究は 5,000千円）を限度とします。

○1件当たり助成金額の上限

- ┌一般研究……30,000千円（研究期間2～4年）
- └調査研究……5,000千円（研究期間2年）

○助成金の支払い

昭和59年度（59/4～60/3）を研究第1年度とし、研究計画に従い年度毎にその所要額を支払います。

ただし、第1年度の交付額は原則として助成額の1/2以下とします。

○助成件数

調査研究を含めて12件前後を予定しています。

5. 推薦件数

1学（協）会より1～2件とします。

6. 推薦者

学（協）会の代表者とします。

7. 第2年度以降の助成金

多年度にわたり助成が決定した研究に対する第2年度以降の助成金については、年度別の助成金額を内定額とします。

8. その他

- ① 候補者は必ずしも気象学会員であることを要しません（ただし、気象学会では、学会での研究発表と十分な討議を求めています）。
- ② 助成金の受領者に対しては、研究経過および研究結果の報告は求められていますが、そのほかには特に条件はついていません。
- ③ 助成金受領者には将来、研究成果の発表を依頼する予定です。

（担当理事） 竹内 清秀

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁観測部

TEL. (03) 212-8341 内線 345